

2014年度後期

知の市場(シラバス)

新規/継続

科目No.	共催/関連講座PT211b	科目名	感染症総合管理1b				副題	感染症対策-ワクチンを中心にー			
連携機関名	国立感染症研究所	水準	中級	教室定員	35	配信定員	0	講義日時	火曜日18:30~20:30	拠点 (開講機関)	東京・戸山 (国立感染症研究所)
科目概要(300字)	感染症との闘いのためのヒトの生体防御の働き、および感染を予防するためのワクチンの効能、またワクチンの安全がどのように確保されているのかを説明する。又、その中で感染症研究の専門機関、特に国立感染症研究所が果たしている機能についても解説する。										

科目構成	No.	講義名	講義概要(150字)	講義日	開講場所	講師名	所属
総論	1	感染と宿主免疫	感染(宿主-病原体関係)における宿主免疫応答とその医療応用に関して、病原体に遭遇した場合のヒトの免疫応答の基礎知識やワクチン等免疫介入治療・予防に関する応用面を概説する。	9月30日	国立感染症研究所 戸山庁舎 会議室	阿戸学	国立感染症研究所 免疫部部長
	2	次世代ワクチンの開発	ワクチンが何故効くのかその原理と投与方法の総論と次世代ワクチンの候補として粘膜投与型ワクチン、DNAワクチン等の作用メカニズムと効果、開発状況について紹介する。	10月7日		長谷川秀樹	国立感染症研究所 感染病理部部長
	3	感染症の予防とワクチン接種	ワクチンで予防可能疾患の国内及び国外の発生状況、我が国の現行ワクチン接種スケジュール、副反応等を概説し、感染症を予防する時のワクチンの重要性を解説する	10月14日		多屋響子	国立感染症研究所 感染症疫学センター室長
	4	血液製剤の品質管理	血液製剤として多くのものが使われているが、それらの安全性がどのようにほしょうされているのかの仕組みを紹介する	10月21日		大隈 和	国立感染症研究所 血液・安全性研究部室長
	5	生物製剤の品質管理	ワクチンは健康な人を対象に予防目的で接種されるものである。であるがゆえに、有効性のみならず、安全性には特に注意しなければならない。一方、ワクチンは生き物を使って製造、試験しなければならないという特殊性についても紹介する。	10月28日		加藤 篤	国立感染症研究所 検定検査品質保証室長
各論	6	世界ポリオ根絶計画とポリオワクチン	WHOを中心にポリオ根絶計画が進められているが、その現状と問題点について、世界的な視点および日本の立場に基づいて解説する。とくに、ポリオ根絶最終段階における、ポリオワクチン戦略にかかわる諸課題について説明する。	11月4日		清水 博之	国立感染症研究所 ウイルス第二部室長
	7	肝炎ワクチン	肝炎の発症予防のためのワクチンが開発され、我が国ではA型、B型肝炎ワクチンが任意接種として使用されている。特に、B型肝炎ワクチンの母子感染予防にはたした役割等について紹介する。	11月11日		石井 考司	国立感染症研究所 ウイルス第二部室長
	8	DPTワクチン	DPT疾患(ジフテリア・破傷風・百日ぜき)の国内および国外の現状とそれら疾患を予防する為に果たしてきたDPTワクチンの役割について概説する。	11月18日		蒲池 一成	国立感染症研究所 細菌第二部室長
	9	麻疹・風疹の現状とワクチン	麻疹、風疹の日本、並びに世界の現状、原因となるウイルスの性状、並びに麻疹ワクチン、風疹ワクチンの開発の歴史、効果等を概略する。また、WHOが定める麻疹排除計画、風疹排除計画についても説明する。	11月25日		駒瀬 勝啓	国立感染症研究所 ウイルス第三部室長
	10	日本脳炎ワクチン	日本脳炎はかつて我が国では多数の小児が発症し、死者、後遺症併発者が多かったが、現在では発症者は希となった。しかしいまもアジア地域では重大感染症の一つであるがワクチンは普及していない。我が国及びアジアにおける日本脳炎の対策、ワクチンの在り方などについて概説する。	12月2日		高崎 智彦	国立感染症研究所 ウイルス第一部室長
	11	肺炎球菌感染症と肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌は、小児や高齢者に菌血症・髄膜炎などの侵襲性感染症や肺炎、中耳炎等をおこす。肺炎球菌ワクチンには小児用、成人用ワクチンがあるが、これらの特徴や臨床効果について概説する。	12月9日		大石 和徳	国立感染症研究所 感染症疫学センター長
	12	結核	結核とはどういう病気か、起病菌の結核菌の特徴およびBCG接種をはじめとする現在講じられている結核対策を含めて概説する。また、結核菌と近縁な菌によるハンセン病についても触れる。	1月13日		牧野 正彦	国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 感染防御部部長
	13	水痘等のヘルペスワクチン	水痘・サイトメガロウイルスなどのヘルペス科ウイルスによる各種感染症および我が国で開発された水痘ワクチンの現状とその効用について紹介する。	1月20日		西條 政幸	国立感染症研究所 ウイルス第一部部長
	14	インフルエンザワクチン	通常の季節性インフルエンザとパンデミック・インフルエンザに対するワクチンに求められる特性には違いがある。現在我が国および海外で認可されているワクチンと両ワクチンとの関係およびワクチン株選定の過程について紹介する。	1月27日		板村 繁之	国立感染症研究所 インフルエンザウイルス 研究センター室長
	15	ヒトパピローマウイルス	ヒトパピローマウイルス(HPV)は、性行為を介して感染し、子宮頸がんの原因となるウイルスである。近年、欧米にてHPVに対する感染予防ワクチンが開発され、我が国を含む全世界で導入されている現状を紹介する。	2月3日		柗元 巖	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター室長